

「リウマチ手記」匿名希望 37歳

2014年4月24日

最初の異変は5年ほど前からでした。

左手の中指第2関節が腫れてきました。朝起きたときに動かしにくいこともありましたが、この時点ではどこかにぶつけたぐらいに思い、すぐに治ると考えていました。しかし半年を過ぎても指の腫れはひかず、他の指の第2関節まで腫れるようになりました。この時点でインターネットなどで調べて、リウマチの症状に似ているなど思いましたが、病院に行こうとは思いませんでした。それから半年が過ぎたころ、今度は右膝の下あたりに微妙な痛みを歩行時に感じるようになりました。1年もたつとイスに長い間座った後に立ち上がると、強い痛みを感じるようになりました。それからは徐々に走れなくなり、正座ができなくなり、しゃがむことすらできなくなりました。

2012年の11月、膝の少し上が水がたまったように腫れあがり、通常の歩行が痛みで難しくなり、足を引きずって会社に行っていました。さすがに近くの病院に行きました。レントゲンでは異常はないので、医師はシップだけを処方しようとしたのですが、リウマチを疑っていた私は血液検査もお願いしました。この時にキシロカインを注射してもらいましたが、歩行時の痛みはなくなりませんでした。しばらくして検査結果を聞きに行くと、リウマチの可能性が高いことを告げられ、MRIを受診しました。MRIの結果もあわせてリウマチと診断されました。2013年1月のことでした。

リウマチと告げられても予め予期していたので、感覚としてはやっぱりそうかという感じでした。診断までの間にインターネットや本を利用してリウマチのことを調べました。今後どのような治療があるのか？薬はどのようなものを使うのか？治るのか？さまざまな情報を頭に入れて再度病院を訪れると、医師はリウマチの薬のことを説明してくれました。薬はリウマトレックスをすすめられ、ステロイドの注射をすることもすすめられました。私は事前にどれほどこの薬が怖いものかを調べていたので、すべて断りました。

あいかわらず足の痛みと腫れは強かったのですが、私はこのように考えていました。「30年以上付き合ってきた免疫たちが、突然自分を攻撃することは信じられない。本当は何かと戦っているのではないか。ただそれが現代医学ではわからないから不治の病になっているのだ。自分の免疫を信じよう。」と私は免疫力を上げる方法がないか探し始めました。調べているとリウマチ患者の免疫力をあげて治療している鍼灸院を見つけました。1ヶ月治療を受けましたが、残念ながら私の検査結果の数値をみて薬を飲むことをすすめられました。行くことをやめました。

鍼灸治療は途中となり足の痛みと腫れはまだ続いていましたが、良くなりそう

な手ごたえを感じていました。ただ鍼灸だけでは力不足なのも同時に感じました。そこで漢方薬にいいものはないのだろうかと探し始めました。そこで見つけたのが松本医院のホームページでした。先生の理論を拝読しました。目にとまったのは「化学物質」でした。これが現代医学のわからない正体なんだと思いました。治る理論が書かれており、この瞬間にリウマチは治ったと思いました。病院に行くまでの日々は、先生の理論とみなさんの手記を読んで過ごしました。読むたびに大きな力をもらいました。いざ病院へ行ってみると漢方の独特なおいと、待合は人でいっぱいでした。診察に呼ばれ入ってみると、2世先生が診察してくださいました。これまでの経緯を説明すると、「治ります。早く来てよかったですね。治るのも早いと思いますよ。」と言ってくださいました。

(松本先生にお会いしたのは2回目の診察でした、「治る」との力強い言葉とともに握手をしていただきました。すごい安心感を同時にいただきました) 診察の後、鍼灸を行っていただきました。やっぱりあの写真には驚愕しました。お灸のやり方や煎じ薬の作り方を教えてもらい帰宅しました。

私は目標を立てました。①3ヶ月で普通に歩けるようになる。②さらに3ヶ月で走れるようになる。③さらに3ヶ月で正座ができるようになる。

それからは薬作りの毎日です。会社に行く時も昼用にペットボトルに入れて持ち歩き、漢方風呂にも時間の許す限り入りました。個人的には食後の薬の方が飲みやすく感じました。

お灸は熱さのためさぼり気味でしたが、治すために頑張りました。大きなもぐさをしてあまりの熱さに飛び跳ね、手に持っていた線香を膝に押し付けてしまいさらに熱いおもいをしたのは、今では笑い話です。

1ヶ月ほど続けると、引きずっていた足もかなりよくなり、腫れも少しですがひいてきました。松本医院が家から近かったこともあり、2週間に1回のペースで診察と鍼灸を受けられたのはよかったと思います。

今は治療して6ヶ月が経ちました。膝の腫れと痛みはほとんどなくなりました。②の目標までは1歩足りませんが、小走りまではできるようになりました。

最近はずっと出張でなかなか伺えない状況ですが、大阪にもどった時には必ず伺いたいと思います。松本先生、2世先生、鍼灸の先生、スタッフのみなさま完治までどうかよろしく願い致します。

松本医院に出会えたことに感謝。